



主要な農作物の生育情報

平成23年度 第7号

(平成23年12月27日)

福島県農林水産部農業振興課



【野菜】

1 イチゴ

県中地方の収穫開始は、促成栽培（夜冷育苗）では平年比で5日程度遅れ11月上旬から、促成栽培（ポット育苗）では、平年並みの11月下旬となっています。病害虫ではうどんこ病、アブラムシ類、コナジラミ類、ハダニ類の発生が散見されます。

いわき地方の促成栽培（夜冷育苗）の収穫開始は、平成並みの11月中旬からとなっています。病害虫の発生は、うどんこ病は平年より少なく、ハダニ類は平年並みとなっています。

2 ニラ

県中地方の2年株の収穫開始は、平年より7日程度早く11月上旬から行われています。1年株の被覆は11月中旬～12月上旬となっています。病害では白斑葉枯病の発生が散見されます。

3 秋冬ねぎ

いわき地方では、生育は平年並みで出荷盛期は12月上旬となっています。病害ではさび病の発生が見られます。

【果樹】

1 リンゴ

農業総合センター果樹研究所（以下、果樹研究所という）における「ふじ」の収穫始めは11月14日で平年より1日遅く、収穫盛りは11月18日で平年より2日遅れました。果実の大きさは401gで平年より大きく、糖度は15.9度で平年より高い状況でした。蜜入り指数は2.5でほぼ平年並み、つる割れ発生率は22.0%で平年より高い状況でした。

果樹研究所における花芽分化率は、「つがる」が89.8%（平年比117%）で平年より高く、「ふじ」は65.8%（平年比92%）で平年より低い状況でした。

2 ナシ

果樹研究所における花芽分化率（予備枝新梢のえき花芽分化率）は、「幸水」が49.2%（平年比87%）で平年より低く、「豊水」が67.8%（平年比97%）で平年よりやや低い状況でした。

【花き】

1 シクラメン

須賀川・県南・いわき地方では、12月出荷用鉢物が出荷の終盤を迎えており、地元市場と関東市場を中心に全国の花市場へ継続して出荷されています。

2 カーネーション（鉢物）

「母の日」向けのカーネーション（鉢物）は、12月上旬から順調に定植作業が行われています。

3 ストック

会津地方の12月出荷作型では、9月下旬以降に低温で推移したことから、順調に花芽分化が進み、平年並みの11月下旬～12月上旬に出荷盛期を迎えました。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/fappi/index.html>）等を活用し、適切に対応してください。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7336

<http://www.pref.fukushima.jp/keieishien/kenkyuukaihatu/gijyutsufukyuu/seiikugijyutsujyohou.html>